

人生100年時代に向けて問う

町民一人一人が、心身ともに健康で潤いに満ちた生活を送るためには、健康づくりと文化活動などをはじめ、生涯にわたってあらゆる機会に学習できる環境や個々の生活を応援し合う仕組みが求められている。

そのためには、これまで町が町民とともに展開してきた「あじさい講座」「いきいき健康体操」「町民公益活動」について、今後さらに充実を図っていく必要がある。そこで次の項目を問う。

- 1 「あじさい講座」は、町民の生涯学習の一環として39のメニューが用意され、様々な情報や知識を町が提供している。現在の受講状況を一層拡大させるための今後の課題は何か。
- 2 「いきいき健康体操」は、介護予防や健康増進のための運動として大変効果がありますが、参加者数が伸び悩んでいると聞いている。今後拡大するために必要なPRやその他の工夫、さらにサポーターの育成などについての考えは。
- 3 町民の高齢化が進み、高齢者世帯・一人暮らし高齢者の方の増加などにより、これまで以上に共助による地域づくりが重要になってきている。町民同士が助け合い支え合うのに必要な公益活動を推進するための課題点や問題点は何か。